

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・木村 司
竹田 秀泰・板谷 良久

矢嶋 翼 議員



【第9回定例会代表質問】
37項目に渡り質問しました。
☆統合型リゾート

ゾート誘致の質問では雇用創出や経済活性化に寄与する。今後、市民の理解を深める取組みを進めると答弁がありました。

☆オートリゾート・アルテンは、これまで市出資の第三セクターで運営してきましたが、独立採算出来ず市の支援も昨年5千万円を超えている事から改善を求め、今後、利用者の増加に努め、運営者公募への判断をしたいと答弁がありました。

☆民間運営の「子供食堂」に市の支援が必要との提案に、関係部署と協議すると答弁がありました。

☆新たな英語教育の強化策の問いに小学校外国語活動巡回指導教員を配置すると答弁がありました。

【第11回定例会一般質問】
☆老朽化が進む公設卸売市場・水産棟の建て替え見通しの問いに、30年度迄に劣化度を調査し、将来の経営

展望策定の中で示すと答弁がありました。また、水産棟内での活魚槽導入は販路の拡大が見込めるので、さらなる増設を求め、利用する関係者から意見を聞き対応したいと答弁がありました。

☆児童の交通安全で、よく目立つ黄色の通学帽を着用すべきとの提案に、モデル校を設けると答弁がありました。

☆弾道ミサイル発射への対応や避難訓練を求める質問に、頑丈な建物に避難する事などへの周知に努め、訓練実施も関係機関と協議すると答弁がありました。

岩田 典一 議員



臨時福祉給付金の支給漏れについて質問し、この制度は、政府が平成26年に実施

した消費税引き上げに伴う所得の少ない方への影響を緩和する政策で、27年度、28年度の2カ年分、計199万件、120万9千円が対象者に支払われていませんでした。原因は、生

活保護システムデータに生活保護の停止や廃止年月日が正しく反映されていないなかったこと、給付金担当と生活保護担当の間で必要なデータの認識やチェックなど十分な連携が取れていなかったと答弁がありました。

さらに私は、財源は、本来、国で賄う処置だが、支給が遅れたことで市税が投入されることに対し指摘をさせて頂きました。

竹田 秀泰 議員



☆共同墓の近親者・身内のいない方の対応について質問し、希望者から事前に、

共同墓埋葬希望届(自分の死後、自分の焼骨を共同墓に埋葬されることを希望する)を提出していただき、本人死亡後、埋葬手続きをスムーズに行うと答弁がありました。

☆苫小牧市民文化芸術振興助成金について質問し、市側から29年度は応募が多く減額をしたが、30年度は予算を多く確保していきたいと答弁がありました。

☆市営住宅整備計画について質問し、今後20年間の計画であり、市営住宅全体の整備計画を平成30年2月の定例会で報告すると答弁がありました。

板谷 良久 議員



☆IR(統合型リゾート)について、現在10社程度のIR事業者が本市を訪

れ、自然の豊かさや国際空港に近隣していることを評価し、数社が本市への投資を検討していることが明らかになりました。

☆犯罪行為により不慮の死と逃げた方の遺族または傷害を受けた方の精神的被害の軽減のため、犯罪被害者等見舞金制度導入を提案し、市は調査検討することになりました。

☆透明性の高い教科書選定には、教育委員会の考え方を明確にすることが必要であることを求め、教育長は道徳の教科書においては『ふるさと』に関する記述を重視することを明らかにしました。